

ディボーション質問表

31日(日)先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1日(月)サムエル記第二 12:16~31

- 1.ここでダビデは、自分の罪の結果として子供を失います。その過程における彼の行動から、何を発見できますか？
- 2.24節でソロモンが神の祝福を受けていることがわかります。このことから神のどんな性質を見ることができますか？
- 3.あなた自身は罪の刈り取りをおこなった事がありますか？その中でどんな神の恵みを体験しましたか？

2日(火)サムエル記第二 13:1~22

- 1.このアムノン・タマル事件の中で、ヨナダブという男が出てきます。ヨナダブのような男の言葉に騙されないためには何が必要だと思いますか？
- 2.15節のような気持ちにアムノンがなったのはなぜでしょうか？愛のない性関係が人の心にどんな影響をもたらすと思いますか？
- 3.22節からアブシャロムの人生は大きく変わり始めます。あなたも同じように苦い思いに支配されている事はないでしょうか？

3日(水)サムエル記第二 13:23~39

- 1.アムノンの事件に関して、ダビデはもっとよい対応ができていたと思いますか？あなたは自分の家族や仲間の罪に対してどのように対処していますか？変えるべき点はありませんか？
- 2.ナダブは、この事件に深く関わる人物でありながら、生きながらえています。あなたは彼のようなチンピラに自分の人生を握られていませんか？断固として立ち向かいましょう。
- 3.アブシャロムとダビデの関係が歪み始めます。何か問題だったのでしょうか？

4日(木)サムエル記第二 14:1~33

- 1.ヨアブはアブシャロムに対してどんな対応をしていますか？ヨアブの行動にはどんな価値があったのでしょうか？
- 2.ここにはコミュニケーション上のいろいろな問題が記されています。あなたはどんな点に気づきますか？またコミュニケーションの問題をサタンが使って、私たちの生活をかき乱しているような事はありませんか？
- 3.アムノンに復讐し、王と会ってもなお、アブシャロムの心はおさまりませんでした。なぜでしょう？このようなおさまりのつかない心を入はどこへ持っていかばよいのでしょうか？

5日(金)サムエル記第二 15:1~23

この事件の始まりの背景には、アブシャロムの野望や憎しみ、国民の不満、そして神様のダビデに対する叱責の結果と、さまざまな要因が練りこまれています。色々なことが渦巻く中で、アブシャロムやダビデ、ヨアブ、登場する人物がどのように生きるか見ていき、自分の人生の豊かさの糧にしましょう。

- 1.1~12節、アブシャロムのとった行動は、国の不満を解消する良いことのように思われますが、6節でそれは「盗みである」と言われます。なぜでしょう？もし、アブシャロムが神様の御心に沿って行動するとしたら、どんな行動になっていたでしょうか？
- 2.ダビデに従う人々がいました(13~18節)。あなたをありのままに受け入れるコミュニティはありますか？人は、神様と自分の強さも弱さも受け入れてくれる人々とのつながりがないと正しく生きていきません。

6日(土)サムエル記第二 15:24~37

- 1.24~29節でダビデは最高の祝福である契約の箱とレビ人を帰します。ダビデは決して王の座と富と祝福に執着していないことがわかります。彼はイスラエルが神様によって裁かれ支配されることを望んでいました。そして、自分はいくまでも神様の器であることも認識していました。自分は、立場や富に執着していないだろうか？すべてのことが神様によって裁かれることを望んでいるだろうか？自分がなんとかしなければならぬと思っていないだろうか？
- 2.ダビデはどのようにオリーブ山に登りましたか？ダビデは王として政治家として、どのようなことを企てましたか(30~37節)？アヒトフェルに対してどのような戦略をたてたのでしょうか？ダビデは恨みから企てたと思いますか？それとも中立的な動機で王としてのことだったのでしょうか？恨みからことを起こさないための秘訣をここで見つけることができるのでしょうか？神様の前に素直に心を注ぎだす祈りをしているだろうか？自分の神を見る目は正常だろうか(ありのままの自分で神様の前に出られなかったり、きれいな祈りしかできなかったり、神様は助けてくれないので、自分でなんとかしなければと考えるなど)？